

地域公共交通活性化・再生総合事業(調査事業)：広島県呉市

概 要

呉市においては、合併による生活圏域の拡大、架橋による移動体系の変化、高齢化の進行等に伴い、市民の移動ニーズは変化しており、こうしたニーズに対応した効率的、効果的な移動サービスを講じていく必要がある。

呉市の公共交通は、東西を結ぶJR呉線と、市域の大半をカバーする市営バス路線(呉市交通局)及び島しょ部4地区で運行する民間バス路線が基軸となっている。合併前の旧町については、いわゆる生活バス(みなし4条バス)や、フェリー、旅客船航路に依存する状況にあり、合併以降も暫定的に同様の運行を引き継いでいるが、各地区間でのサービス内容に差があることから、市としての統一的なサービス確保方針等の設定を行っていく必要がある。

本調査ではこれらの背景を踏まえ、呉市にとって望ましい効果的・効率的な公共交通体系構築に向けた基礎調査を実施するとともに、具体的な事業・施策を検討する。

〇地域公共交通の概要

- ・JR呉線・呉市交通局、民間各社による4条バス路線
- ・呉市からの依頼によるみなし4条バス路線(生活バス)
- ・呉市、民間各社による旅客定期航路 など

〇地域公共交通の課題

- ・市としての統一的なサービス確保方針の設定
- ・効果的・効率的な公共交通体系の構築
- ・公共交通空白地域の削減
- ・公共交通の利用促進に向けた取組み(観光PR等を含む) など

〇調査事業の主な内容

- ・公共交通の現況調査、アンケート調査及びヒアリング調査
- ・公共交通体系の基本方針の検討
- ・短期的課題の解決に向けた具体的な事業・施策検討
- ・公共交通の利用促進策、地域との連携方策の検討

〇策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ①倉橋地区の地区内移動サービスの効果的・効率的な運行に向けた見直し検討
- ②安浦・音戸地区の地区内移動サービスの効果的・効率的な運行に向けた見直し検討
- ③音戸渡船の交通結節機能強化及び利用促進策の検討
- ④豊地区御手洗における観光用交通機関導入等による地域活性化検討
- ⑤川尻地区等の斜面住宅地における生活交通確保策の検討
- ⑥市街地におけるMMIによる公共交通利用促進検討 など

